



休眠預金活用の現状



■資金分配団体による助成事業数（累計）

80事業

2019年度通常枠 24事業
2020年度緊急支援枠 20事業
2020年度通常枠 20事業
2020年度緊急支援枠<随時> 16事業

■助成予定総額

約**94.4**億円

2019年度通常枠 約29.8億円
2020年通常枠 約28億円
2020年度緊急支援枠 約16億円
2020年度緊急支援枠<随時> 約20.6億円

■資金分配団体総数 （コンソーシアム構成団体含む延べ団体数）

112団体

資金分配団体78団体 +コンソーシアム構成団体34団体

2019年度通常枠 22団体+4コンソーシアム構成団体
2020年度緊急支援枠 20団体+8コンソーシアム構成団体
2020年度通常枠 20団体+11コンソーシアム構成団体
2020年度緊急支援枠<随時> 16団体+11コンソーシアム構成団体

■実行団体数（累計）

500団体以上（20年度末見込み）

2019年度通常枠 142団体
2020年度緊急支援枠 215団体
2020年度通常枠 公募・選定中
2020年度緊急支援枠<随時> 公募・選定中

複数事業採択を除く、
資金分配団体実数

70団体

資金分配団体50団体
コンソーシアム構成団体20団体

コンソーシアム（資金分配団体）の状況

※コンソの取り扱いについては公募要領別添2参照



申請事業採択団体	19年度通常枠	20年度緊急支援枠	20年度通常枠
1 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター	草（地）	緊急	草（地）
公益財団法人とっとり県民活動活性化センター	〃	〃	〃
公益財団法人ふるさと島根定住財団	〃	〃	〃
特定非営利活動法人岡山NPOセンター	〃	〃	〃
特定非営利活動法人やまぐち県民ネット21	〃	〃	〃
2 公益財団法人佐賀未来創造基金	草（地）	緊急	—
一般財団法人 未来基金ながさき	—	〃	—
3 公益財団法人 東近江三方よし基金	—	緊急	草（全）
公益財団法人 南砺幸せ未来基金	—	—	〃
一般財団法人 うんなんコミュニティ財団	—	—	〃
4 特定非営利活動法人地球と未来の環境基金	—	緊急	草（全）
特定非営利活動法人 可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会	—	〃	〃
ランドブレイン株式会社	—	—	〃
5 一般財団法人 リーブ共創基金	—	緊急	—
認定特定非営利活動法人 育て上げネット	—	〃	—
6 公益財団法人熊本YMCA	—	緊急	—
一般財団法人くまもと未来創造基金	—	〃	—
7 認定特定非営利活動法人 富士山クラブ	—	—	草（地）
公益財団法人長野県みらい基金	<単体：草（地）>	<単体：草（地）>	〃
8 公益財団法人九州経済調査協会	—	—	SB
一般社団法人ユヌス・ジャパン	—	—	〃
9 公益財団法人 原田積善会	—	—	草（全）
一般社団法人希望を未来につなぐプロジェクト	—	—	〃

資金分配団体 活動対象地域別事業数

活動対象地域	19年度通常枠 <対象：24事業>	20年度緊急支援枠 <対象：20事業>	20年度通常枠 <対象：20事業>
全国	16	7	8
北海道	1	1	1
東北	0	2	1
関東	0	3	2
北陸	0	1	2
東海	2	2	1
近畿	2	1	2
中国	1	1	4
四国	0	1	1
九州	1	2	3
沖縄	1	1	2

➤ **資金分配団体と協働して業務改善PTを始動。事務フローや助成システムの運用・機能改善に向け検討をすすめています。**

①業務改善PT

- 本年1月より、13の資金分配団体の有志20名程度が参加、業務フローの改善や、助成システムの操作性の向上や、具体的機能改善などを検討
- 3月からは、5つのチーム（制度、評価、資金管理、規程・契約、活動管理）に分かれて課題の洗い出しと改善の方向性の検討を進めています。

②助成システムの利用者支援強化

- 資金分配団体、実行団体のみなさまからの利用時の操作に関する相談等の窓口（コールセンター）を設置します（本年度上期から）

JANPIAのHP、休眠預金活用事業サイトのご紹介



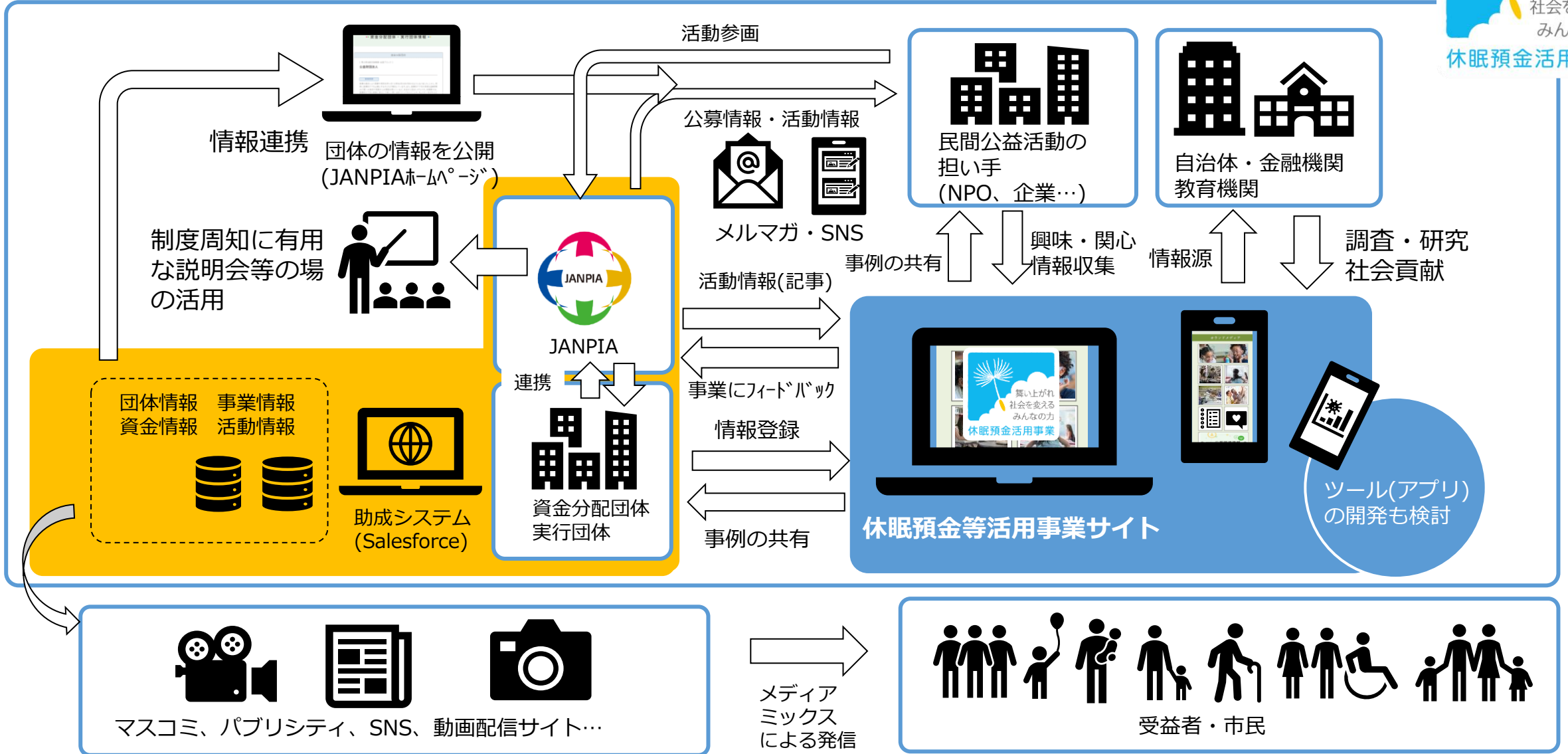
JANPIAホームページ
<https://www.janpia.or.jp/>

The screenshot shows the JANPIA homepage. At the top left is the JANPIA logo and name, with the tagline '一般財団法人 日本民間公益活動連携機構'. Below this are navigation links: 'JANPIAとは', '休眠預金等の活用', '資金分配団体の公募', '実行団体の公募', '評価', and 'English >'. A prominent blue banner for the '2021年度 資金分配団体の公募 [第1回通常枠募集] ライン説明会 開催決定!' is featured. Below the banner, a list of five events is shown with dates and times. A 'お問い合わせ' button is in the top right. On the right side, there are four informational cards: '休眠預金等活用とは', '資金分配団体・実行団体情報', '休眠預金活用事業サイト', and '内部通報制度' and '団体専用' buttons.

休眠預金活用事業サイト <https://kyuminyokin.info/>

The screenshot shows the Kyuminyokin website. At the top is a search bar and the site title '休眠預金活用事業サイト'. Below is a grid of six featured articles with images and titles. At the bottom, there are three sections: 'Home' with a navigation menu, '最新の投稿' (Latest Posts) with a list of recent articles, and 'ランキング' (Ranking) with a list of top articles.

休眠預金活用事業の情報発信のイメージ



1. 利益相反防止

実行団体の公募・選定における審査プロセスの透明性・公正性の確保

2. 安定的な事業運営を担保する体制確保

3か年の事業実施期間を通じて安定的に実行団体の事業実施をサポートできる体制の確保が必要です。

- ・PO人材の確保
- ・適切なガバナンス・コンプライアンス体制を実現する役員体制

3. 実行団体との定期的なコミュニケーション

資金支出・管理面を中心とした事業実施状況の確認の重要性

公募要件等に関する留意点（主なもの）



- 過年度に採択された事業を実施中の資金分配団体におかれましては、当該事業と異なる新たな内容であれば、今年度資金分配団体となるための申請が可能です。 ※参考：2021年度の新型コロナ対応支援枠では同一事業での申請は可能
- 2021年度新型コロナウイルス対応支援枠と重ねての申請も可能ですが、同一事業についてコロナ対応支援枠と通常枠に申請することはできません。
- 国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない事業の中から助成対象事業を選定します。
- 団体としてのガバナンス・コンプライアンスの体制面で、特定の企業・団体等から独立をした団体であること
- 独立行政法人は制度趣旨を踏まえて選定の対象とはしません

公募要件等に関する留意点（主なもの）



- **資金分配団体及び実行団体については、2020年度と同様に自己資金の確保を図ることします。資金分配団体においては、団体の特性や資金調達における現状等を踏まえて目標値を定めた上、その達成に向けて、助成期間終了後を見据え、資金調達の多様性確保に向けた方策を資金分配団体等と検討し、共有していきます。**

※参考：新型コロナ対応支援枠では引き続き自己資金確保は求めません

- **1つの資金分配団体、実行団体あたりの助成期間内に行われる事業に対する最大の助成額の目安は公募要領P12に掲載されていますが、これはあくまで目安であり、事業内容等に応じ、当該金額の超過を含め柔軟に助成額の設定を行います。**